

導入年度	H14年	設備名	高真空ガス置換炉		
メーカー	(株)デンケン	型式	KDF-V50M	設置室	鑄造・熱処理実験室

### 《概要》

チタン合金やマグネシウム合金等の非鉄金属材料は、高温で酸化しやすいため、真空中や負か正ガス雰囲気中で熱処理する必要がある。チタンの熱処理（焼き入れ温度：800℃）、接合試験（銀ろう付け：900℃）、粉末冶金試験（予備焼結：1100℃）や各種金属材料の熱処理（焼き鈍し、焼き戻し）に使用する。

### 《装置外観》



### 《仕様》

- ・ 炉内寸法：  $\Phi 152 \times D 300$
- ・ 常用／最高使用温度： 1000℃／1100℃
- ・ 炉内温度分布：  $\pm 5^\circ\text{C}$
- ・ 真空度：  $1 \times 10^{-4}$  Pa
- ・ 炉内雰囲気： 真空・窒素・不活性ガス
- ・ 排気能力： 油回転・ターボ分子ポンプ
- ・ プログラム運転： 40パターンの記憶が可能

### 《用途》

- ・ 非鉄金属材料（チタン、アルミニウム、マグネシウム等）の熱処理試験
- ・ 粉末焼結金属の予備焼結試験
- ・ 真空ろう付け試験
- ・ 金属材料の表面処理（窒化）試験